

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

車輛運搬具及び工具・器具備品・・・定額法によっている。

#### (2) 引当金の計上基準

〈退職給付引当金〉

職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	60,000,000			60,000,000
小 計	60,000,000	0	0	60,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	77,171,867	4,977,865		82,149,732
減価償却引当資産	3,998,776	130,610		4,129,386
小 計	81,170,643	5,108,475	0	86,279,118
合 計	141,170,643	5,108,475	0	146,279,118

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	60,000,000	(40,000,000)	(20,000,000)	—
小 計	60,000,000	(40,000,000)	(20,000,000)	0
特定資産				
退職給付引当資産	82,149,732	—	—	(82,149,732)
減価償却引当資産	4,129,386	(0)	(4,129,386)	—
小 計	86,279,118	(0)	(4,129,386)	(82,149,732)
合 計	146,279,118	(40,000,000)	(24,129,386)	(82,149,732)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	取得価額				減価償却累計額				当期末残高
	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	前期末残高	当期増加額	当期減少額	償却額累計	
車輛運搬具	13,394,403		1,410,500	11,983,903	13,246,277	93,836	1,372,819	11,967,294	16,609
工具器具備品	8,707,426		944,270	7,763,156	8,565,537	36,774	944,268	7,658,043	105,113
合計	22,101,829	0	2,354,770	19,747,059	21,811,814	130,610	2,317,087	19,625,337	121,722